

生理検査学 A

単位数：1 単位(30 時間)

責任者：高橋 信博
学年・学期：第2 学年・前期／後期

◆一般目標(GIO)

人類の誕生以来、脈々と鼓動し続ける“心臓”。その生命の根幹を成す心機能学を修め、病態や臨床的意義を理解し、合わせて＜基礎力(説明できる)×検査力(実施できる)×臨床力(判断できる)＞ これらを総合力として、あらゆる事象に対応のできる人間力のある臨床検査技師を目指す。

◆到達目標(SBOs)

循環生理学、心電図検査は“理解する学問”である。
各項目すべてについて、理解し説明できること。

1. 心電図検査の臨床的意義
2. 心臓の構造と機能
3. 心周期現象
4. 心電図の発現機構、心臓全体の電気現象
5. 心電図の各誘導法
6. 正常心電図
7. 心電図の基本波形の名称とその意味
8. よい心電図をとるため、心電計の構成と検査方法
9. アーチファクトの原因に対応できる。
10. 心電図から診断できる異常波形の特徴と臨床的意義
11. 緊急度の高い不整脈を判読し処置(対応)ができる
12. 運動負荷心電図、ホルター心電図など、記録方法と臨床的意義
13. 心音図検査の臨床的意義と異常心音図
14. 動脈硬化検査の臨床的意義と検査方法
15. 血管内皮機能検査の臨床的意義と検査方法

◆学習方法

必要に応じてプリントを提供する。

◆評価方法

期末試験及び小試験 レポート提出

◆教科書

臨床検査学講座 『生理機能検査学』 東條 尚子 他編 医歯薬出版(株)
本校学校長、山藤 賢先生は編集顧問

◆教員紹介

担当教員は病院での勤務経験に基づいて、臨床検査技師養成に向けた授業を展開する。

基本的には教科書に沿って講義を進めます

回数	項目	講義内容	担当
1	心電図 1	生理検査の手順、生理検査室の安全管理 心電図とは、心電図の歴史心臓の構造と機能	高橋
2	〃 2	心電図波形の発現機序と心臓の電気現象 心電図の誘導法、心周期現象	〃
3	〃 3	心電図の誘導法、正常心電図 心電図の基本波形の名称と意味	〃
4	〃 4	心電図記録のポイントと留意点 心電計の原理と操作方法	〃
5	〃 5	アーチファクトの原因と対応 異常心電図波形の特徴と臨床的意義 緊急を要する心電図と対応 虚血性心疾患	〃
6	〃 6	負荷心電図、ホルター心電図など	〃
7	心音図 1	正常心音図と異常心音図	〃
8	脈波 1	脈管疾患検査 動脈硬化検査、血管内皮機能検査	〃